

# K A W A K A M I D A M 川上ダム通信

2009  
1  
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)  
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

## 川上ダム建設事業の進展に向けて

川上ダム建設所長 及川 拓治



川上ダム建設所長 及川拓治

平素から川上ダム建設事業の推進につきまして、ご支援、ご協力をいただき心からお礼を申し上げます。

私達職員一同は、最新の知見を盛り込んだ川上ダム建設事業を進展させるべく、地域の皆様のご支援を得て、本年も一歩ずつ着実に歩みを進めて参りたいと考えます。

平成20年を振り返りますと、6月20日に、近畿地方整備局から関係6府県知事に対して淀川水系河川整備計画案が示され、意見照会がなされました。足掛け7年の時間を経て提示されたこの計画案には、伊賀地域と下流淀川、木津川沿川地域の洪水被害の軽減、三重県の水道用水の確保、河川の流水の正常な機能の維持（木津川上流の既設ダムの堆砂除去のための代替容量の確保を含む）という事業目的で川上ダムの建設が位置づけられており、11月11日には三重、滋賀、京都、大阪の4府県知事により、川上ダム建設について基本的に合意するとのもとの共通認識が発表されました。今後、関係6府県知事より意見が提出され、早い時期に川上ダムが明確に位置づけられた河川整備計画が策定されるものと考えます。

工事関係では、三重県との合併施行により進めておりました、川上川右岸に付け替える県道松阪青山線について、11月17日に全線約5kmを開通させることができました。また、前深瀬川沿いに付け替える県道青山美杉線につきましても鋭意工事を進捗させて参りました。

平成21年は、法手続きを待って着手する予定でありました漁業補償、廃止発電補償について、交渉を進展させるとともに、ダム本体工事の準備工事となる転流工のうちバイパストネル工事及びダムサイト左右岸での工事用進入路工事に着手する予定です。併せて、ダム本体工事に関連した諸調査や環境保全対策に関する諸調査を実施して参ります。

水資源機構の力を結集し、川上ダムの早期完成を望む多くの方々の声に応えるべく、最新の知見を盛り込み、コスト縮減や環境保全にも真剣に取り組んで参ります。

平成21年も引き続き皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



川上ダム完成予想図

# 安全祈願 無災害・無事故完工を願う

新年を迎えた1月7日（水）、川上ダム建設事業の無災害・無事故完工を願い、伊賀市阿保にある大村神社で安全祈願を執り行い、絵馬を奉納しました。大村神社は、地震を防いでいるという言い伝えのある要石が祀られ、地震の神様として知られています。

今年一年、工事が安全に行われることを願うとともに、事故を起こさないという安全への決意を新たにしました。今後も、安全に十分注意し、事業進捗に努めて参ります。

【総務課 箕輪律子】



大村神社にて

## 労働災害防止に万全を期して！ ～伊賀労働基準監督署と合同で安全協議会を開催～



安全協議会



安全パトロール

1月23日（金）、現在施工中の付替道路工事が工期末に向けて進捗しているなかで労働災害防止を徹底するため、伊賀労働基準監督署より署長及び安全専門官を講師にお招きし、川上ダム安全協議会を開催しました。川上ダム安全協議会とは、川上ダム建設所の事業による労働災害を防止し、業務を円滑に推進することを目的として設立されています。安全専門官から安全に関する講話をしていただきました。講話では、労働災害防止計画の目標と重点対策項目について確認し、伊賀労働基準監督署管内における建設業の労働災害発生状況から特に「墜落・転落」事故に注意することの重要性について講義していただきました。現場の安全パトロールでは、施工現場に即した安全指導を受けるとともに講評を頂きました。参加者は労働災害防止に向けて、さらなる取組みの充実を進めていく決意を固めていました。川上ダム安全協議会は、今後も安全第一に無事故で事業が推進されるべく、活動に取り組んで参ります。

【工務課 柴田健一】

## 消防訓練を実施

1月26日（月）、伊賀市南消防署の消防官を講師にお招きして、事務所内で火災が発生したという想定のもと、通報・避難訓練及び水消火器による消火訓練を実施しました。訓練では、主に火災発生後の対応や初期消火の注意点を確認しました。

実際に火災が起こっても、今回の訓練での経験を活かし、冷静に行動できるようにしたいと思います。

職員一同、気を引き締め、防災に取り組んで参ります。

【調査設計課 竹之内健太】



消火訓練





ダム建設予定地にて

## 近畿地方整備局長 川上ダム現場視察

平成20年12月25日(木)、木下近畿地方整備局長が川上ダム現場を視察されました。当日は、ダムサイト予定地や付替道路の進捗状況、オオサンショウウオ保護施設等を視察いただきました。

今後とも川上ダムの事業が進むように職員一同努力して参ります。

【工務課長 柳生光彦】

## 野鳥観察のすすめ

今は1年で最も寒い時期ですが、広葉樹が落葉し、空気が澄んでいるため、野鳥観察には最適です。双眼鏡を持って野山や田んぼなどを見ると、水辺でマガモがのんびりと休息し、山林ではキツツキが樹木をコンコンと突く姿が見られ、いろいろな場所で多くの野鳥に出会えます。

寒さが厳しくなりますが、癒しを求めて野鳥観察に出かけてみてはいかがでしょうか。

【環境課 水野正明】



アオアカゲラ

## 川上ダム工事進捗状況の紹介

### ～青山羽根地区と川上地区をつなぐ道路工事②～

8月号で紹介いたしました、青山羽根地区と川上地区をつなぐ道路工事の進捗状況を紹介いたします。

1月20日から22日で、プレキャストアーチカルバート※1の架設が完了しました。1枚の長さが約7m、幅1.5m、厚さ25cm、重さ約7tの32枚のアーチ部材を50tクレーンで吊り上げ組み立てていきました。完成後は、動物がアーチカルバート内部を自由に行き来できるようになるため、環境面に配慮した工法となっております。今後はアーチカルバート坑口に補強土壁(コンクリート壁面材)※2を設置し、アーチカルバート上に土を道路天端まで盛立てていきます。

【工事課 木下真理子】

※1 プレキャストアーチカルバート：道路下に水路等の空間を得るため、盛土や地盤内に設けられた曲線状の構造物。

※2 補強土壁：斜面に擁壁をたてて、土を入れる工法



架設の流れ

## 交通安全研修に参加して



実車体験

三重県津市の三重県交通安全研修センターにおいて、川上ダム建設所職員が1月7日(水)、14日(水)、21日(水)の3日に分かれて交通安全研修に参加しました。研修では、屋外で実車を使った急制動・急ハンドルによる緊急回避、屋内でシミュレーターによる危険予測と緊急回避を体験しました。今回の研修を通じて、

正しい乗車姿勢が安全運転に繋がること及び危険予測を行うことで急操作を避けることの大切さを改めて学ぶことができました。より一層の安全運転を心がけたいと思います。

【環境課 磯野正典】

## 地元の偉人シリーズ：西嶋八兵衛(其の壱)

西嶋八兵衛は慶長元年(1596)遠州浜松に生まれ、慶長17年(1612)17歳で藤堂高虎に仕え、土木技術者となりました。三重県内では雲出川の開削や山畑新田の開墾などに取り組み、城和奉行や伊賀奉行を30年間努め、延宝8年(1680)85歳で亡くなりました。

三重県津市丸之内商店街には、前号で用いました写真「八兵衛銅像」があります。

【調査設計課 竹之内健太】



八兵衛の像(津市丸之内商店街)

※西嶋八兵衛の像(三重県津市丸之内商店街)への行き方  
近鉄青山町～近鉄津新町駅下車 徒歩20分

## EVENT

### 八日戒

「えべっさん」の愛称で親しまれている蛭子神社の祭礼。海の幸と山の幸の物々交換の名残といわれるはまぐり市が多くの露店と共に並ぶ。

○日時／2月7日(土)11時頃～、2月8日(日)9時頃～

○場所／蛭子神社

近鉄名張駅下車徒歩10分

○問い合わせ／(社)名張市観光協会 TEL 0595-63-9087

### 観音提寺正月堂 修正会

頭屋による大餅練り込みと、火と水が乱舞する荒行達陀行法が行われる。

○日時／2月11日(祝・水)13時～16時、

2月12日(木)13時～15時

○場所／観音提寺正月堂

・島ヶ原駅より中矢行きバス乗車、正月堂東停留所下車徒歩2分

・名阪国道大内IC下車R163経由20分

○問い合わせ／観音提寺正月堂 TEL 0595-59-2009

## 編集後記

寒いが続いており、インフルエンザも流行っておりますが、健康と安全には気をつけて元気に過ごして参りましょう。本年も川上ダム建設所職員一同よろしく願いいたします。

【広報誌発行事務局】

編集長 及川 拓治 (川上ダム建設所長)

デスク 吉岡 直也 (総務課長)

// 柳生 光彦 (工務課長)

通信記者 磯野 正典 (環境課)

// 竹之内健太 (調査設計課)

// 箕輪 律子 (総務課)



ISO14001 : 2004  
JQA-EM5769

☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。  
ハガキやメール等でどしどしお寄せください。☆☆  
◇川上ダム建設所はISO14001を取得し、環境保全を推進しています。◇